



令和元年度 第6回 子ども部会

日 時 令和元年10月15日（火）午前10時～
場 所 始良市役所 1 号館入札室

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 第5回子ども部会 会議録について
 - (2) 第5回子ども部会 障がい児福祉計画協議内容について
 - (3) 第3回子ども部会 災害支援に関する協議内容について
 - (4) 令和元年度第1回研修会報告
- 4 協議事項
 - (1) 医療的ケア児の受け入れについて
- 5 その他
- 6 閉会

【資料】

- 1 令和元年度第5回子ども部会 会議録
- 2 令和元年度第5回子ども部会資料 障がい児福祉計画について
- 3 R1.7.16 子ども部会「災害時の支援について」のグループワークまとめ
- 4 子ども部会（研修会）
- 5 令和元年度子ども部会第1回研修会アンケート集計
- 6 本校における医療的ケアの実施について（県立加治木養護学校）
- 7 始良市地域自立支援協議会子ども部会（始良保健所）
- 8 医療的ケア児の受け入れについて（事務局）

R1.7.16 子ども部会「災害時の支援について」のグループワークまとめ

	内 容
行政	① 福祉避難所の場所を示すマップがあるとよい 福祉避難所開設を知らせるシステムの構築（メールまたは放送など） 福祉避難所の設備（電源の確保や仕切りの有無など）や運営の情報があるとよい
	② 養護学校の生徒は養護学校が避難所になるほうがよい。 しかし、加治木養護学校では長期的に避難が必要となった場合、電源の確保や必要機器がないことから、利用している事業所に依頼することになりそう。 移動手段の確保や事業所がどこまで対応できるかなど課題。
	③ ヘルプカードの周知徹底、受け取り場所についての周知 （一般の避難所で順番を待ち並ぶことができない、待つことができないなど）
	④ 福祉避難所開設に関わるスタッフの研修会の開催 （熊本地震を体験された方を講師として招くなど）
	⑤ 災害時に必要となる物品一覧表の作成（イラストを用いて） 例：お薬手帳を水に濡れてもいいようにパウチしておく どんな薬が処方されているか分るように写真を撮っておく
	⑥ シンボルカードの設置、トイレの洋式化
	⑦ 地域資源の把握
	⑧ 行政、民事連、身体障害者協会との連携が必要
	⑨ 避難訓練の周知
	⑩ 始良市の防災マニュアルの周知
	⑪ 避難における要支援者の把握や名簿の管理が必要
医療的 ケアが 必要な かた	① 重症心身障害者、医療的ケアが必要な方については医師会との連携が必要
	② 医療機器を使用するための電源の確保や必要な物品がない可能性があり、自宅を出て避難することは難しいのではないか
各個人	① 偏食や食べられるものが限られることもあり、備蓄が必要 避難時の食事を実際に食べたり、避難所を想定し宿泊するなど
	② 避難について絵本を利用して子どもに事前に教えておくのがよいのでは。 （熊本地震の後に、建物の揺れや物が落ちてきたことによるトラウマで家が怖くて帰れなくなった子どもたちのために作られた絵本として『やっぱりおうちがいいな』がある）
	③ 家にいる 1 人の対象者の避難を想定して、多くの人を巻き込んで避難の練習をしてはどうか

<意見>

- ・令和元年 7 月初めの大雨で避難レベル 4 が出ていたが、実際に避難した人は少なかった。
避難することで生じるリスクと、その場に留まることでのリスクどちらもあったのでは。
- ・令和元年 7 月初めに体験した大雨や災害に関するアンケートをとると、今後活かすことができるのではないかな。

令和元年度始良市特別支援教育担当者研修会

令和元年度始良市地域自立支援協議会子ども部会第1回研修会 アンケート集計

アンケート回収 計 70 名

1 所属先

小学校	1 名	養護学校	3 名
中学校	0 名	療育施設	17 名
保育所	8 名	福祉施設	6 名
幼稚園	3 名	行政関係	10 名
こども園	9 名	医療機関	9 名
その他	4 名	その他内訳 (子育て支援センター2名、保護者2名)	

2 指導講話1の感想

わかりやすかった・勉強になった・よいきっかけになった	18
特性を理解できるツールを知った・データ分析されていることに驚いた	17
内容の理解が難しかった・小学校教諭向けの内容	17
個の認知特性や傾向に配慮し、支援していく大切さを知ることができた	12
支援に活かしたい(子どもの良さ・課題など)	9
先生方に感謝。先生方には検査結果をぜひ活用してほしい。	3
集団特性を理解する視点として有効だと思った	3
知っている子・自分の子の結果を見てみたい	2
我が子を基準に考えた・我が子の強み・弱みを知りたい	2
講話ペースはもう少し早くても良かった・時間が長かった	2
連携(NRT 検査の詳細を医療機関・療育機関等に提供できないか)	2
検査の質問はどんな内容か	1
サポートの話をもう少し詳しく学びたかった	1
質問の時間が欲しかった	1
ADHD は、言語などの治療により支援が及ばない程度まで抑制が可能。 教育で無理な域はプロフェッショナルにまかせることも大切。	1
定期的な研修希望	1

3 指導講話2の感想

今後の支援に生かしていきたい・具体例が支援のヒントになった 子どもの見方、接し方を見直す良い機会だった・より精進したい・頑張りたい	21
わかりやすかった・とても良かった・学びが多かった・話に引き込まれた・ 楽しかった・とても心動かされる内容だった・心にしみた・最後の手記は胸が あつくなった	30
周囲との情報共有の大切さ・連携の大切さ・人と人とのつながりが大切	18
自立活動について具体的に知った・アセスメントの方法は役立つと感じた	10
困っていることだけでなく、子どもの全体像をとらえる大切さ 子どもの主体性を大切にしていきたい	9
「子どもの幸せと家族の幸せ」を心したい	4
ストレッチマン素敵・先生から教育論・障害児支援の姿勢を学んだ 自分たちの役割の大切さを感じた・利用者へ寄り添った支援をしていきたい 一人一人に合った支援方法見つける重要性	6
乳幼児期からの関わり方を学んだ	2
職場に持ち帰って話をしたい	2
我が子がどんな感情か（感情日記の記入）や、視覚的評価方法など工夫したい ・子ども自身が自己評価していく大切さ	2
養護学校について知った	1
ネガボ辞典を買いたい・しりとり自己紹介良かった	2
これまでの指導、子どもとの関わり方を見直したい	1
障がい特性に自分自身がこだわっていたと思う	1
もっとこのような研修会を受けたい	1
時間はちょうど良かった	1
教育機関への理解と顔の見える関係の第一歩になる会だった・医療現場でも 役立てたい	2
CDC は言語訓練などで治る。もっと医学的エビデンスに基づいた勉強を。	1
特別支援学級の実態とほど遠く感じた	1

4 受講したい研修会（3つまで）

発達	37名	障害理解教育	16名	福祉サービス	11名
問題行動	30名	就労	12名	虐待	10名
心理検査	24名	災害時の支援	12名	その他	3名
当事者の話	17名	読み書き	11名		

- ・福元先生の講話を他の職員にも直接聞いてもらいたい。
- ・療育について
- ・学校との連携。具体的にどの様な情報のやりとりをした
らよいか知りたい。